



▼感謝状を贈呈された（左から）田中さん、井芹さん、井芹社長



9月6日（月）御船警察署で、人命救助に対する感謝状贈呈式が開催されました。一人暮らしの高齢者を救助したことに對して、熊日甲佐販売センター（井芹精之社長）、同センターの新聞配達員・井芹輝雄さん（有安区）、主婦・田中郁さん（岩下二区）に、同署と町から感謝状を贈呈されました。8月26日（木）未明に、井芹さんが岩下二区に住む一人暮らしの90歳の高齢者宅に配達時に新聞受けに前日の新聞と回覧板が残っているのを不審に思い、同センターに連絡。同センターと高齢者宅の隣に住む田中さんが協力して高齢者宅を確認したところ、室内に倒れていたのを発見し、警察と消防に連絡して救助しました。病院での診察によると、救助された高齢者は2日ほど倒れていたと推測され、発見が遅れていたら手遅れになっていた可能性が高い状態でした。

感謝状を贈呈された3人は「日ごろからの地域での心配りがあったからこそ、発見することができたのだと思います」と話しました。

一人暮らしの高齢者を救助

御船警察署および町から感謝状を贈呈

9月6日（月）御船警察署で、人命救助に対する感謝状贈呈式が開催されました。一人暮らしの高齢者を救助したことに對して、熊日甲佐販売センター（井芹精之社長）、同センターの新聞配達員・井芹輝雄さん（有安区）、主婦・田中郁さん（岩下二区）に、同署と町から感謝状を贈呈されました。8月26日（木）未明に、井芹さんが岩下二区に住む一人暮らしの90歳の高齢者宅に配達時に新聞受けに前日の新聞と回覧板が残っているのを不審に思い、同センターに連絡。同センターと高齢者宅の隣に住む田中さんが協力して高齢者宅を確認したところ、室内に倒れていたのを発見し、警察と消防に連絡して救助しました。病院での診察によると、救助された高齢者は2日ほど倒れていたと推測され、発見が遅れていたら手遅れになっていた可能性が高い状態でした。

加藤清正公のドラマ化を

NHK大河ドラマ化署名運動

9月3日（金）「加藤清正公記念事業実行委員会」に、町教育委員会に寄せられた「加藤清正公のNHK大河ドラマ化実現署名運動」での署名を提出しました。

同署名運動は、平成22年に生誕450年、同23年に没後400年を迎える加藤清正公をドラマ化することで、九州新幹線開通などに合わせて本県の観光PRを図る同実行委員会が企画。本町では、1,950人の署名が寄せられました。

今後も、署名につきましては、町教育委員会社会教育課で受け付けます。



▲昨年からの1年間で寄せられた1,950人分の署名を提出



◀修復したピアノでのオープニングコンサート

開館記念コンサートを開催

田原に「熊本ピアノ歴史館」がオープン

8月29日（日）田原の(株)古城ピアノ社が、「熊本ピアノ歴史館」の開館を記念して、オープニングコンサートを開催しました。同館は、日本のピアノ文化創成期に作られた国産ピアノの製作技術とピアノ職人らの製作への思いを後世に伝えるために、同社のピアノ修理工場を増改築して開館。明治時代から昭和時代初期に製作されたピアノを同社で引き取り、自社工場修復した10台を展示しています。コンサートでは、修復したピアノでの演奏が行われ、来場者は歴史ある音色に耳を澄ませました。

▼お問い合わせ先

熊本ピアノ歴史館

甲佐町大字田口3922・3096・234・4970

差し押さえ物件を公売

上・下益城郡合同公売会

9月18日（土）益城町総合体育館で、平成22年度第1回上・下益城郡合同公売会が開催されました。

同公売会は、町税などの滞納処分を強力に推進することを目的に、本町、益城町、御船町、嘉島町、美里町が合同で開催し、滞納者から差し押さえた物件324点を出品。全物件が落札され、買受代金は総額で66万663円（税込み）。

本町からは46点を出品し、見積り価格の合計3万9,600円に対して、落札価格は9万6,153円となりました。



▲差し押さえられた軽自動車を競り売りする会場



▲超大型スクリーンでのカラー影絵劇を公演

カラー影絵劇公演を開催

町生涯学習センター自主文化事業

9月5日（日）町生涯学習センターで、「人吉影絵劇サークル『まつぼっくり』公演」が開催されました。

同公演は、子どもも大人も同じ空間に集まって生の芸術に触れることによって実際に感じる事ができる感動を共有することを目的として、町教育委員会が同センター自主文化事業として開催。縦3桁×横8桁の超大型スクリーンによるカラー影絵劇を上演する人吉影絵劇サークル「まつぼっくり」が、心優しい鬼と目の見えない少女との触れ合いを描いた「ベッカコンコおに」や「3びきのこぶた」などを上演しました。

会場には、子どもから大人まで約180人が集い、色とりどりの影絵の美しさを楽しみました。

甲佐短歌会が20周年

『創立20周年記念短歌作品集』を発刊



▲平成3年に発足し今年で創立20周年を迎え、『創立20周年記念短歌作品集』を発刊した甲佐短歌会の皆さん。

甲佐短歌会（渡辺幸士代表15人）が、『創立20周年記念短歌作品集』を発刊しました。

同会は、町公民館講座「古典を読む会」の受講生から短歌を勉強してみたいとの声が上がリ、平成3年に町公民館講座として発足しました。

現在は、毎月第2月曜日に町生涯学習センターで開催。前月末までに会員が詠んだ短歌を集めて、講師の米納三雄さんが添削。同会の開催日に集まって、それぞれの短歌について意見を出し合い、加筆修正したものを『広報こうさ』に掲載しています。

20周年を記念して今回発刊された『短歌作品集』は、会員がこれまでに詠んだ短歌の中から、20首を選んで掲載しています。

同短歌会では、「短歌は、だれでもいつからでも始められるもので、生きがいとなるものです。ぜひご参加ください。『短歌作品集』をご希望の方は、お問い合わせください」と話しました。

▶甲佐短歌会への参加、『短歌作品集』についてのお問い合わせ先

渡辺幸士さん ☎096-234-3713